

株主・投資家とのコミュニケーション

ベネッセは、株主・投資家の皆さまに対する情報開示を積極的に行い、IR開示ツールの充実はもとより、双方向コミュニケーションを重視し、「顔の見える」IR活動を実施しています。

顔の見える積極的なIR活動

年に2回開催する決算説明会では、社長・副社長が業績や経営戦略について自らの言葉で説明しています。またその様子は、動画や、プレゼンテーションの書き起こし資料、質疑応答要旨資料などの形でWebサイトに公開しています。国内外機関投資家・証券アナリストに対しては、2018年度は年間約200件の個別ミーティングやスモールミーティングを開催し、業績や事業の方向性について率直にディスカッションしました。

海外機関投資家とのコミュニケーションも活発に行っています。2018年度は、社長やIR担当執行役員が、欧米の投資家を5回訪問しました。証券会社主催のカンファレンスにも参加し、幅広い投資家層とコミュニケーションを図っています。

株主総会は、より多くの方にご参加いただけるように、土曜日に開催しています。また、総会に出席できなかった



2019年3月期決算説明会
(2019年5月10日開催)

ステークホルダーに向けて、決算説明会と同様に動画やプレゼンテーションの書き起こし資料、質疑応答要旨資料などの形でWebサイトに公開しています。

IRサイトを通じた情報開示

フェアディスクロージャーの観点から、Webサイトの充実にも取り組んでおり、Webサイトを通じて決算説明会や株主総会の模様に加え、各種IR資料や財務データ、プレスリリースなどを即時開示しています。

また、個人投資家向けのサイトを設け、ベネッセの強みや戦略、業績が一目でわかるコンテンツを掲載するなど、当社のことをよく知らない方々にもご理解いただけるように工夫しています。



Web「株主・投資家情報」



Web「個人投資家の皆様へ」

IRツールへの外部評価(2018年度)

IRサイト、統合レポートなどのIRツールに対して、外部から高い評価をいただいています。

IRサイト

Gomez
IRサイト総合ランキング
優秀企業 銀賞



日興アイ・アール
全上場企業
ホームページ
充実度ランキング
最優秀サイト



大和インベスター・
リレーションズ
インターネットIR
優秀賞(銀賞)



統合レポート

米国LACP
「2017/18
Vision Awards」
ゴールド賞
(世界23位)



GPIF
国内株式運用機関が
選ぶ
「優れた統合報告書」
選出



環境保全への取り組み

ベネッセは、さらなる成長に向けて中長期的な環境目標を策定し、環境負荷の削減と環境活動に対する外部評価の向上に積極的に取り組んでいます。

長期視点に立った環境活動

ベネッセは、事業を継続し、持続的な成長を実現していくために、地球環境保全の取り組みを積極的に推進しています。2050年度を最終年度とする中長期環境目標を策定し、事業活動にともなう環境負荷の削減を進めるとともに、環境活動に対する外部評価の向上を目指しています。

この目標の達成に向けて、2018年度はSWOT分析を実施しました。ESG投資の拡大やTCFD[※]の提言、SDGs(持続可能な開発目標)の採択などの環境変化や、ステークホルダーの期待・要請を踏まえて分析した結果、「紙の使用に由来するCO₂排出量の削減」と「環境教育の推進」の2つをとくにマテリアリティの高い活動項目として特定しました。今後は、2018年9月に設置したサステナビリティ推進委員会を中心にグループ全体で環境マネジメントを強化し、中長期環境目標の達成に取り組んでいきます。

※ 2016年に金融安定理事会(FSB)によって設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース」。気候関連のリスクと機会について情報開示する企業を支援することなどを提言

中長期環境目標

	2018	2019	2030	2050
CO ₂ 排出量削減(対2013年度)	10.1%削減	12.0%削減	31.0%削減	55.0%削減
外部評価(CDP評価)	Aリストイン	Aリスト維持	Aリスト維持	—

CDP気候変動2018で「Aリスト」企業に選定、日本の教育・介護事業者として初めてTCFDの提言に賛同

ベネッセグループでは、事業活動における環境負荷の低減と環境教育の推進に取り組んでいます。こうした取り組みによって、温室効果ガス排出量削減や気候変動緩和への対応などで優れた活動を行っている企業として、CDP[※]気候変動2018において最高評価である「Aリスト」企業に選定されました。

CO₂排出量の削減

CO₂排出量の約99%はDMや教材で使用する紙に由来するもので、そのうち約97%をスコープ3(輸送・配送、使用、廃棄など)が占めています。そこで、オフィスでの無駄の削減に加え、商品・サービスのデジタル化などによって紙使用量の削減に取り組んでいます。

環境教育の活動

長く教育事業を展開するなかで培ってきた知見やノウハウを活かし、次代を担う子どもたちへの環境教育に力を入れています。

●しまじろうクラブ くるくるリサイクル

しまじろうコンサートの会場でこどもちゃれんじの玩具教材を回収し、リサイクルしています。

2018年度までの
累計回収量 **14,774 kg**



教材を回収ボックスに入れる子ども

●高校生 環境小論文コンクール(環境省後援)

身の回りの環境問題を取り上げ、解決策を提案してもらう小論文コンクールを実施しています。

2018年度応募数 **1,955件**



※ 2000年に設立された国際的な非営利団体。企業や政府における温室効果ガスの排出削減、水資源保護、森林保護を促進